FORUM 8
F8VPS
FORUM8
バーチャル
プラットフォーム
システム
新TVCM放送中！

映像新聞

令和４年（2022年） 2月14日 第2515号

株式会社 映像新聞社
112－0006 東京都文京区小日向1丁目24番8号エイゾービル
電話（03）3942－2161（代表）
ファックス（03）3942－2581
毎週月曜日発行（月４回発行）
昭和42年１月25日 第３種郵便物認可
１部660円、年間購読料28,600円（税込）

Eizoshimbun 55th Anniversary 55th SINCE 1966

Visual Communications Journal

©映像新聞社

ヌーベルバーグが渋谷に「nOOb.st」

映像制作・配信用に開設

eスポーツなどXR演出

システムはST 2110で構築

ヌーベルバーグ（東京都千代田区）は1月24日、東京・宇田川町に映像配信対応スタジオ「nOOb. st（スタジオ ヌーブ）」を開設した。大型LEDウォールを背面と床面に配置したスタジオなど計2箱を構え、XRを活用した多彩な映像を制作、配信できる。SRT、ST 2110によるIP伝送にも対応しリモートプロダクションを実現する。主な対象は、同社がここ数年取り組んできたeスポーツをはじめイベントや配信番組、企業動画など。放送分野で培ってきた人材と技術、グループ会社との連携を生かして業務を拡大していく。

nOOb. stは、渋谷の東急百貨店本店に隣り合う場所にある。ここにはグループ会社のポストプロダクション、ヌーベルアージュが拠点の1つである「渋谷スタジオ」を構えている。

スタジオの開設は、コロナ禍による配信需要の増加など市場の変化が背景にあった。ヌーベルバーグの池田正義副社長は「当社はスタジオ技術やENGのスタッフ派遣を主な業務とするが、同時にイベントの映像配信事業も始めていた。そのなかでコロナ禍が始まり、eスポーツや音楽ライブを中心とした配信需要が増加。特にeスポーツは積極的に手掛けていたこともあり業務として大きくなっていった。また市場としても、配信コンテンツに視聴者が課金する土壌ができたことで充実してきた」と話す。

一方、技術者の派遣市場はコロナ禍で現場の人員数が制限されたり、制作スタッフが撮影まで担当するようになったりして変化してきた。

同社はそこで、配信事業を「今後の成長の可能性が高く、当社の強みである技術力を持つスタッフを生かせる」（池田氏）もう1つの柱と位置付けた。さらにリモートプロダクションを活用すれば、「中継車のような大規模設備をもたない企業にも〝中継〟が可能となる」（池田氏）。IP伝送を活用した自社スタジオを構築し、新たに編成したCGチームによる制作を含めて展開することで、業務の拡大につなげていくことにした。

フロアは2箱のスタジオから成る。「STUDIO－1」は背面と床面に2・6㍉ピッチのLEDディスプレー、カメラトラッキング、リアルタイムレンダリングを組み合わせた大型スタジオで、インカメラVFXにも使用できる。

トラッキングセンサーはStarTracker とVioTrack R+。CGと映像を連動させることで、華やかなスタジオ演出が好まれるeスポーツ向けのARなどを制作できる。

撮影エリアは横8・5×高さ2・5×奥行き5㍍で、約12人が一度に登壇できる。

「STUDIO－2」はグリーンバックの多目的なクロマキー合成スタジオ。横約7・3×奥行き5・9㍍で約6人まで対応する。海外からのフィードを受けながら、顔出しで実況解説する番組の利用を想定している。

システムはST 2110で構築した。STUDIO－1にはパナソニックのスイッチャー「KAIROS（AT－KC1000T）」を採用。プロダクションがフルIPで同モデルを運用するのは初だという。外部からの映像受信用にDejero「WayPoint 50」を導入した。

スタジオには、実況解説席やプレイヤーの対戦席を置くことが可能。大きな鏡のついた控え室4室やシャワールームを装備するので、出演者は安心して配信に臨める。

システム設計はテクシス、機材調達は朋栄。

〈2面に続く〉

STUDIO-1

STUDIO-1のサブ

ProLight & ProVisual 2022特集 8-9面

本号の主な記事

［放送］
総務省が放送用周波数 活用方策の取りまとめ案 ……3
［技術開発］
急接近するDVBと5G/規格化作業の最終段階で進展 ……5
［CATV］
J:COMが法人向けサービス/専用ディスプレー使い定額制でアート作品を配信 ……6
［大型映像］
北京五輪開会式に多数のLED使用 製造大国の中国をアピール……11

映像新聞ウェブサイト
http://www.eizoshimbun.com
購読のお申し込みはこちらから

Low cost & Compact
フレームシンクロナイザー

3G対応フレーム シンクロナイザー
FS-20V
希望小売価格
150,000円（税別）
20ドット単位で出力位相を調整
ラックマウント高密度実装
RM-22 実装例
【12台実装】
www.videotron.co.jp

THIRDWAVE Pro
Dospara plus
ビジネス向けPC「THIRDWAVE Pro」に
Illustrator、PhotoshopなどAdobe製品の
1年サブスクリプション同時購入モデル
登場！
同時購入モデルには当社推奨スペックモデルを選定！

株式会社サードウェーブ 法人営業統括本部
電話受付時間 平日9時～18時
03-5294-2041
お問合せはこちら
sales_hq@twave.co.jp
https://www.dospara.co.jp/plus/software/adobe_cc/desktoppc_set/

ヌーベルバーグ「n00b.st」

スイッチャー「KAIROS」をフルIPで運用

送出装置は「FUJI ROCK ´21」の実績で選択

〈1面から続く〉

◆スタジオ詳細

スタジオ名称は「初心者」を意味するスラング「ｎｏｏｂ（ヌーブ）」からとった。配信スタジオの初心者であること、また「ヌーベルバーグ」と音が似ていることに掛けて命名した。

ＳＴＵＤＩＯ－１では ｄｉｓｇｕｉｓｅ製のメディアサーバーで映像を送出する。

STUDIO-1

クリエイトＬＥＤのディスプレーはピッチが細かく、床面の保護用パネルの鋲が目立たないよう加工されていることから選んだ。ラウンド型に配置したので美術セットとして利用でき、床面の耐荷重も十分あるので実際のセットを組める。

「Ｕｎｒｅａｌ Ｅｎｇｉｎｅ」上の光源の動きと照明を連動させるなどの改修も加えていく。

カメラは「ＵＲＳＡ Ｂｒｏａｄｃａｓｔ Ｇ２」４台で、テロップは Ｖｉｚｒｔ。刻一刻と変化するゲーム画面やそのスコアを取り込み、リアルタイムに表示するｅスポーツでの実績が高いことから導入した。「マーカーレスのトラッキングセンサーとＶｉｚをあわせることで〝出前バーチャル〟的なサービスも提供したい」（池田氏）という。

ＫＡＩＲＯＳは「安定して動作し大量のレイヤーを重ねても問題がないうえ、スタッフに利用経験者が多いことから選択した」（池田氏）。ＳＤＩ信号はＳＴ ２１１０に変換して入力し、外部から配信されるＳＲＴ信号は直接入力する。ゲーム配信で多く使われるＮＤＩは入力を増設する。同期はＰＴＰ。

リモートプロダクションは今後タリーや機器制御のシステムを追加し、ＳＲＴを使った形を完成させる。ＳＴ ２１１０の準備も並行して進めていく。

池田氏

「KAIROS（AT-KC1000T）」

リプレイやハイライト映像用の「Ｅｎｖｉｖｏ Ｒｅｐｌａｙ」はタッチ操作ができインタフェースも分かりやすい。作った映像をＳＮＳに直接アップできるので、イベントのプロモーションに便利だという。

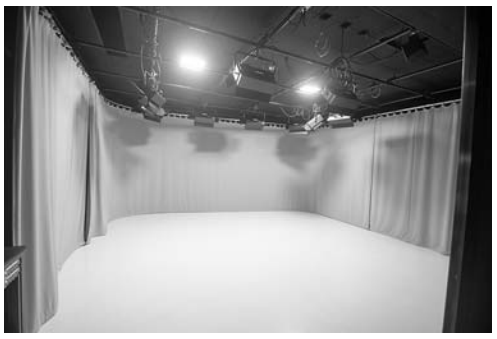
音声ミキサーはヤマハ「ＱＬ５」をＤａｎｔｅで接続した。ＳＴ ２１１０－３０の音声ストリームをＤａｎｔｅに引き込むには「Ｄａｎｔｅ Ｄｏｍａｉｎ Ｍａｎａｇｅｒ」を使う。

送出やエンコードのシステムには、システム構築から現地での配信業務、イベント運営、生映像編集までをグループ全体で担当した２０２１年の音楽イベント「ＦＵＪＩ ＲＯＣＫ ＦＥＳＴＩＶＡＬ ’21」での実績を反映した。

収録送出は「Ｍｏｖｉｅ Ｒｅｃｏｒｄｅｒ」。同じネットワークに「Ｐｒｅｍｉｅｒｅ Ｐｒｏ」を置けば編集してすぐに送出できる。ディレイ放送にも対応する。ＡＪＡのエンコーダー・デコーダー「ＢＲＩＤＧＥ ＬＩＶＥ」も同イベントで画質の良さが評価され、安定して動くハードウエアであることから導入した。

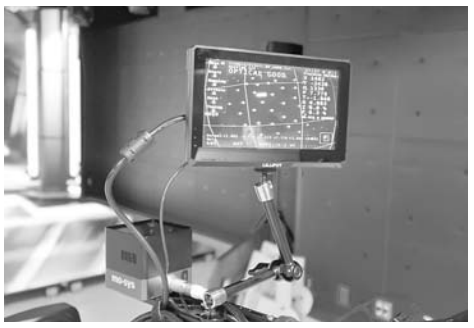
同社は今後、同じ建物内のヌーベルアージュをはじめグループ各社と連携しながら、さまざまなコンテンツを制作、配信する。池田氏は「今はテクニカルディレクターの育成と、イベント向け配信システムの構築力の強化に取り組んでいる。将来的にはこのスタジオを通して、中継映像を制作し放送局や配信会社に送る役割を果たしたい。また小規模コンテンツを手軽に中継できる仕組みも提供したい」と展望を話している。

【所在地】東京都渋谷区宇田川町34－5サイトービルⅢ ３階
▽電話＝０３－３２８８－４３５１（代表）▽メール＝info-n00b.st@nouv.co.jp


STUDIO-2

「VioTrack R+」（前方下）を装着した「URSA Broadcast G2」

フリースペース


「StarTracker」の設定画面。前方のボックスが本体

DMM.comがポニーキャニオン、キュー・テックとの提携を発表

メタバースで音楽ライブを提供

ＤＭＭ．ｃｏｍは、メタバースを活用した新しい音楽エンターテインメントを展開するため、ポニーキャニオンおよびキュー・テックと業務提携と運営に関する合意書を締結。「Ｖｉｒｔｕａｌ ｈａｒｅｖｕｔａｉ（バーチャルハレブタイ）プロジェクト」を発足した。

ＤＭＭはＶＲを含む動画配信事業を推進する。ＶＲ専門の研究開発チームも擁しており、「メタバース」と呼ばれるＶＲソーシャルサービス「ＤＭＭ Ｃｏｎｎｅｃｔ Ｃｈａｔ」を開発してきた。

ポニーキャニオンはコンテンツを企画制作し、東京・池袋では未来型ライブ劇場「ｈａｒｅｖｕｔａｉ」を運営する。キュー・テックはポストプロダクションとしてコンテンツ制作をサポートしている。

３社は、ＤＭＭが培ってきたテクノロジーやノウハウを活用し、メタバースにおける音楽を中心としたライブコンテンツを開発。ｈａｒｅｖｕｔａｉをバーチャル上に再現したライブ会場「Ｖｉｒｔｕａｌ ｈａｒｅｖｕｔａｉ」をはじめ、さまざまなＶＲ空間で企画を開催し、バーチャルならではの音楽ライブ体験を提供する。

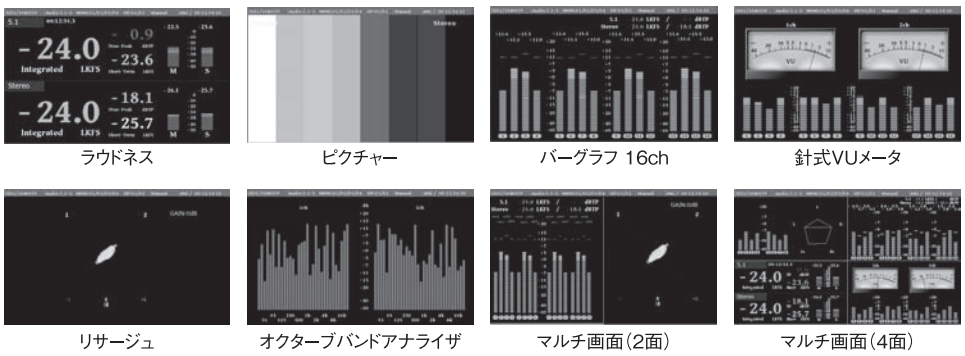
３社は現在、プロジェクトのパートナーを募集している。

12G対応 ラウドネス機能付　リサージュメータ

LjM3a-12G　希望小売価格 500,000円（税別）
12G/3G/HD/SD-SDI , AES/EBU , アナログオーディオ

12G/3G-SDI エンベデッドオーディオ 32ch、HD/SD-SDI エンベデッドオーディオ 16ch、AES/EBU デジタルオーディオ 8ch、アナログオーディオ 2ch（XLR3 平衡）入力を装備し、オーディオレベルのバーグラフ表示、針式表示、リサージュメータ、位相計、ラウドネス値計測ができます。

画面表示例



ラウドネス　ピクチャー　バーグラフ 16ch　針式VUメータ
リサージュ　オクターブバンドアナライザ　マルチ画面（2面）　マルチ画面（4面）

株式会社 コスミックエンジニアリング　〒191-0065　東京都日野市旭が丘3-2-11　tel 042-586-2933（代表）　http://www.cosmic-eng.co.jp/　mail: c1000@cosmic-eng.co.jp

総務省　放送用周波数　活用方策の取りまとめ案

放送大学跡地は次世代地デジ実験用
V―Low帯はFM周波数拡充に

総務省「放送を巡る諸課題に関する検討会」（座長＝多賀谷一照 千葉大学名誉教授）のもとに設置された「放送用周波数の活用方策に関する検討分科会」で、放送大学の地上放送跡地（28ch）、V―Low帯域（95MHz―108MHz）の活用方策「放送用周波数の活用方策に関する取りまとめ（放送大学の地上放送跡地およびV―Low帯域）（案）」が策定された。1月19日―2月18日の期間で意見募集が実施されている。

防災情報・路側通信システムでも

同取りまとめ案では、国のコンテンツ制作力の底上げのための社会的な実証、地方発のコンテンツを中心とした良質なコンテンツを発信する場として活用することを視野に、総務省で具体的な実施内容を検討していくことを求めた。

放送大学のFM放送跡地（77・1MHzおよび78・8MHz）については、引き続き、アナログ方式のFM放送で活用することを前提に、臨時災害放送局の専用周波数とすることが適当とし、平時においては地方公共団体による地域情報の発信などにも利用できるよう、周波数の利活用を図ることが望ましいとした。

今後、臨時災害放送局の有効な運用方策の在り方について、地方公共団体を中心に総務省も協力して検討を進めるとともに、技術的事項の検証などを求めている。

V―Low帯域の活用方策は、①FM放送用周波数の拡充②防災関連情報の提供を目的とした利用③新たなサービス、実験・実証用――を基本方針に検討を進めた。

①については、FM補完中継局を中心に一定の需要が見込まれ、AM放送からFM放送への転換の検討も進められることを挙げ、FM放送用周波数の拡充として利用することを求めた。必要帯域については、AM放送のFM放送転換の検討状況を踏まえつつ、今後具体化していくべきとした。

コミュニティー放送局については、将来的な需要増加に対応できるようV―Low帯域においても免許ができるようにしておくことが適当とした。

②においては、FM防災情報システムおよびFM路側通信システムの利用形態、機能要件などについて整理。FM防災情報システムは、防災行政無線を再送信するシステムとして位置付けて基本コンセプトを整理し、地方公共団体の主要道路沿いや避難所駐車エリア周辺などの小スポットエリアを対象に、防災行政無線の屋外拡声子局から流れる情報と同じ内容を伝達する形態を想定した。

そのうえで、同システムは地方公共団体による一定のニーズが見込まれ、机上検討の結果、占有周波数帯幅がFM放送と比べ半分の100kHzで防災行政無線の音声情報を送信可能であるなど、技術的に実現できるシステムであることが検証されたとして、V―Low帯域の一部については、FM防災情報システム用の周波数として利用することを提言している。

必要帯域などは、詳細な技術検証等を踏まえ、具体化していくことが必要とした。置局に際しては相互干渉にかかわる技術的検討をすること、また防災行政無線と近接して設置されることから、防災行政無線の周波数（60MHz帯）との離隔を極力確保するため、V―Low帯域の高い周波数を利用することが望ましいとも記している。

FM路側通信システムについては、将来におけるAMからFM放送への転換の動向を踏まえつつ、今後、関係者による技術的検討などで具体化されていく中で、結論を得ることが適当とした。

③については、AM・FM放送転換の状況に応じて検討することが適当としている。

民放ラジオ99局
“スピーカーで聴こう”キャンペーン
松任谷由実がアンバサダーに

日本民間放送連盟ラジオ委員会（委員長＝上口宏・文化放送会長）は8日から、民放ラジオ99局〝スピーカーでラジオを聴こう〟キャンペーンを開始した。期間は今秋まで。

放送やradikoのラジオコンテンツを、ラジオ受信機、AIスピーカー、ブルートゥーススピーカー、Wi―Fiスピーカーなど「スピーカー」で聴く楽しみを広めて聴取時間を伸ばし、ラジオ媒体の価値向上を図る。

同キャンペーンではradikoがスペシャルパートナーに加わり、アンバサダーには今年デビュー50周年の松任谷由実が就任。「WE LOVE RADIO 松任谷由実 50th ANNIVERSARY～日本中、ユーミンに包まれたなら～」と題してラジオをスピーカーで楽しむスタイルを提案し、さまざまな企画を実施する。

全国ラジオリスナーと作る、松任谷由実デビュー50周年記念のリクエスト・ベストアルバムの企画も決定。今春には第1弾企画として、民放ラジオ99局によるユーミンリクエスト企画を展開する。

CM考査支援システム「こあらー」

BS松竹東急が採用
プラットイーズ

プラットイーズ（東京都港区）は、自社のCM考査支援システム「こあらー」が、新規BS放送事業者であるBS松竹東急に採用・導入されたと発表した。

同システムは、CMの表現考査の作業ステータスを可視化し、考査結果や履歴などを蓄積するシステム。BS松竹東急は、3月26日に新たなBS無料放送局を開局するにあたり、考査実績の蓄積・運用できることや、相対する広告会社との機能連携などを評価し、採用したという。

BS松竹東急の「こあらー」採用は、BS放送局ではBS朝日、BSテレビ東京、BS11（ビーエス・イレブン）、BS12トゥエルビに次ぎ5局目。地上波・BS・CS全体での採用実績は計39局になる。

テレビ70年 これまでとこれから 下

技術進化 躍進と後退

テレビ放送は間もなく70周年を迎える。このタイミングで総務省は、テレビ放送の在り方を大きく見直す可能性のある議論を始めた。そもそも放送は、技術的に通信の一部だったが、社会的な必要性から制度として別のシステムとなった。そしてラジオからテレビへと進化し、20世紀にメディアの王様となった。放送技術の賜物であったが、ITの進化はテレビを上回る。その結果としてテレビ放送の在り方を見直す方向だ。今回は技術・テクノロジーの側面から70年間を概観し、今後の展望を試みる。

（次世代メディア研究所・鈴木祐司）

★放送の歴史改められる

テレビ放送70周年を前に枠組みの変更を議論し始めたのが、総務省「デジタル時代における放送制度の在り方に関する検討会」だ。

これから始まる放送ネットワークインフラの更新で、ブロードバンドなどによる代替も可能にしようという方向で、放送の歴史が改められようとしている。

前提には放送を取り巻く厳しい環境がある。テレビのライブ視聴が後退し、民放の広告収入減が続いている。

赤字に陥る社も増え、現在20社となっている。日本の人口も2055年には1億人を割り込む。国土の約2割が無居住地域になるという予測も出ている。

テレビ局はこうした人口激減地域に、約300局の小規模中継局やミニサテを展開している。従来の更新では、自治体の一部負担などがあったが、今や更新費用の捻出が難しくなっている。

そこにITの進化もあって、「ブロードバンド網による代替」の可能性が出てきた。

「複数の者の分担による整備・運用」により、困難地域での中継局の事実上の更新をやり遂げようという議論なのである。

★制度として分離

日本で放送が始まったのは、1925年3月22日だった。

東京・芝浦の小さなスタジオから、日本初のラジオ第一声「JOAK、こちらは東京放送局であります」が発せられる。

実はラジオ放送の開始は、その2年前に発生した関東大震災と密接な関係がある。10万人を超える犠牲者を出した大災害は、無線通信で他の地域に伝えられた。

さらに被災地では、情報伝達の手段がなくなる中で流言飛語が飛び交い、多くの犠牲者を出す事態となる。情報伝達メディアとしてラジオの必要性が認識され、ラジオ放送の開局を急がせたと言われている。

日本より5年前にラジオ放送が始まった米国も、前提にタイタニック号の沈没があったとされる。混信する無線通信の整理が課題となったからだ。

つまりラジオ放送は、社会的に重要度の高い情報を優先的に広く伝えるため、通信一般と区別された。

技術的には通信と同じだが、制度として別のシステムへと切り分けられたのである。

★テレビ放送の強さ

ラジオ開始に続いて、1953年にテレビ放送が始まった。

テレビとは文字通り映像を遠くに送り届けるシステム。そのテレビ技術は、「より遠くへ」「よりリアルな今」を送り届けるために進化し続けてきた。

「より遠くへ」では、まず東京―名古屋―大阪が中継され、やがて全国で、明らかにネットはテレビを凌駕（りょうが）し始めている。

「オンデマンド」「ピンポイント」「自分事」の側面により、若者を中心にテレビ離れが起こり、ネット利用が急増しているのである。

「オンデマンド」とは、好きな時に見たいコンテンツを見られることで、これにより編成表にそった放送が押され始めた。ライブ視聴が減り、これが広告収入減にも影響している。

「ピンポイント」とは、番組全体ではなく、見たい部分だけ選択して消費する行為だ。

テレビは60分とか120分とか編成の論理で長さが決まっている。ところが若者は、全部に付き合ってくれない。

自分に関係がある・興味のある「自分事」の部分だけつまみ食いする。かくして映像コンテンツは、放送ではなくネットで消費する人が増えたのである。

★未来への道

時代はマスメディアから個別へと移っている。従来の最大多数を狙った番組が徐々に見てもらえる人数を減らし、自分が好きなものを、ある時は短尺である時はシリーズ全体を一気見で、好きな時に消費する人が増えているのである。

ではこのような時代の変化でテレビ局は、退潮を余技なくされるばかりなのだろうか。

その答えはノーだ。映像情報の消費者が変化したのなら、それに合わせて映像情報の制作や提示の仕方を工夫すればいい。

そもそもテレビ局は、ライブで消費する映像では圧倒的な優位性を持つ。そして、ネットのどのような事業者より豊富な知見、ノウハウを蓄積している。

パッケージでもNHKと民放キー局を合わせた6系列が一日何時間も放送している。一定水準のコンテンツをこれだけ毎日制作できているネット事業者はいない。

こうした能力を、パッケージとライブを連携させて提供すれば、テレビ局はまだまだ大きな影響力を持てるはずだ。パッケージでもニーズに応じて何通りかに作り分ければより大きな効果を発揮する。

当シリーズでは今後、ジャンル別にテレビ局がやれることを掘り起こしていく予定だ。テレビ局の未来への道はいくらでもある。

「より遠くへ」「よりリアルな今」実現

ITの進化で状況が一変 時代はマスから個へ

1日レンタル LiveU

¥55,000～（税込）

LiveU レンタル好評受付中！

スポーツ・ネット配信・展示会等、様々なイベントでご使用頂けます。
国内外で多数のレンタル実績、海外レンタルにも対応可能です。
イベントによっては特別なプランもご用意しております。

●6回線 SIM
●専用バックパック付

●4回線 SIM
●専用ポーチ付

LU600　LU300

お問い合わせ
03-5484-7270

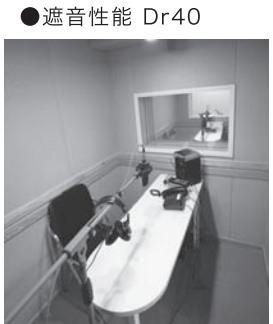
三信電気株式会社 ソリューション営業本部 映像システム営業部
http://www.sanshin.co.jp/business/solution/vd

多目的簡易ブース（アナウンス・編集・MA）

あなたのオフィスがスタジオに～

安価 簡単設置 短期で施工 短

●サイズはフレキシブル（設置場所に対応）
●解体・移設も可能
●遮音性能 Dr40



映像スタジオ施工
MA室 ブース 各種 編集室 注文制作家具

Takahashi Construction Co., Ltd.
SOUND PROOF
～映像・音響専門
SINCE 1979～

一級建築士事務所
高橋建設株式会社
本社 〒216-0032 神奈川県川崎市宮前区神木1-7-8
TEL044-853-0547 FAX044-852-1588
（社）日本ポストプロダクション協会会員／（社）日本音楽スタジオ協会会員
（社）日本音響学会会員

デジタル映像環境に対応、直営システムに依る徹底したコストダウン
映像・音響・防音
プランニング・施工

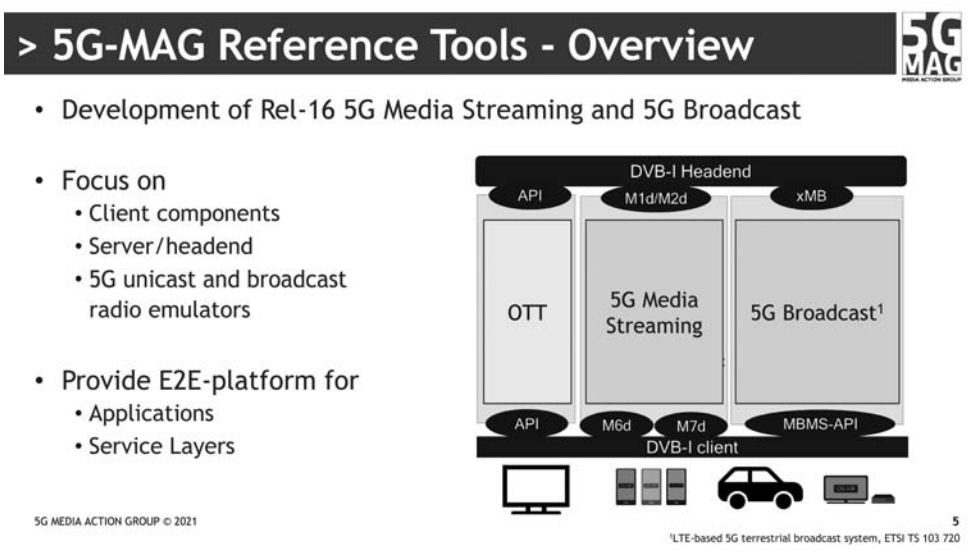
http://www.takahashi-kensetsu.co.jp
info@takahashi-kensetsu.co.jp

規格化作業の最終段階で進展

急接近するDVBと5G

次世代放送方式に無線活用へ
IP伝送上で種々のサービスを

欧州発のデジタル放送技術プロジェクト「DVB」が、5Gによる配信に急接近している。携帯電話の世界では、以前から基地局周辺に局所的な放送をする方式が検討されてきた。しかし、これは一般の放送に使えるものではなかった。最近、HPHT（ハイパワー・ハイタワー：大出力高放送塔）からの放送に適した規格も策定され、次世代放送方式に5G無線が考慮できる状況になってきた。一方、DVBプロジェクト（以下、DVB）では、インターネット上での伝送をにらんだ「DVB－I」の規格化がなされており、IPとの整合性を重視していた。1月末にDVBでは5Gとの連携にかかわる複数のプロジェクトの状況をウェビナーで報告した。DVB－T2の次は5GNRを無線方式として採用し、IP伝送の上に種々のサービスを置こうとする方向性が見えてくる。（杉沼浩司）



5G-MAGでは、DVB-Iが5GBC、5GMS双方を利用できる参照ソフトを開発している（ウェビナー発表資料より）

★展示会再開なるか

変異を続ける新型コロナウイルスの中で、現在はオミクロン株が世界的に流行している。オミクロン株自体は、非常に早期に変異したことが今では判明しており、まるで拡散の機会を狙っていたかのような振る舞いを見せている。日本より早く流行した欧州では、ほぼ感染のピークに達した模様で、新規感染者数の伸びは止まるか、減少に転じた国も見られる。

モバイル関連見本市「MWC22」が開催されるバルセロナを擁するスペイン・カタルーニャ自治州の「感染拡大指数」は、1月22日の約700をピークに急減している。2月4日の結果として約2300まで下がった。ただし、この指数は100以上が「高リスク」で、デルタ株ピーク時は約2000をつけた。

バルセロナでは、MWC22の準備が進んでいる。昨年は出展を見合わせた大手企業も復帰を表明している。一方、ソニーは出展しない大手の代表格として報じられた。

それでもMWC22は「用心しつつも楽観的」と報じられている。5Gの進展と5Gアドバンスド（5Gの発展形に使われる名称）に向けた機材とサービスを見ることができそうだ。

★5Gブロードキャスト

5Gを規格化する3GPP（世界の代表的地域・国家標準化機関による合同の移動通信規格化プロジェクト）は、以前から「携帯電話の放送利用」の規格化を手掛けてきた。MBMSやeMBMS、さらにはFeMBMSとして知られている。しかし、これらの多くは「携帯電話用帯域の一部を使って『放送モード』で配信する」ための方式であり、想定利用例としては「スタジアム内でイベントの実況中継をする」といったものが挙げられる。

電波的には、LPLTつまり、アンテナ高の低い送信塔から、低出力で送信することになる。携帯電話用帯域内での送信であるから当然である。これは地域限定どころか、基地局周辺数百㍍限定の「マイクロ送信局」となり、数十㌔㍍先まで電波を飛ばす放送事業者の興味が至るものではなかった。

★要求仕様を策定

DVBでは、2021年7月に「DVB－Iを5Gで実現する上での商業的必達事項」（DVBドキュメントC100）をまとめている。この中では、放送の視点で実現が求められる事項を列挙している。

5G側には「5Gブロードキャスト（5㌘㍗C）」や「5Gメディアストリーミング（5GMS）」といった伝送方式が用意されている。これらとDVB－Iの親和性が確認され、5GMSの上にDVB－Iを乗せる、または5㌘㍗Cの上にDVB－Iを乗せるといった構造が検討されてきた。

また、5㌘㍗Cと5GMSのハイブリッド型も考慮されうる。現段階では、どれかに決定というものではなく、種々の状況を並列に検討するものとなっている。

検討は、DVBと5G－MAG（5Gメディアアクショングループ）が共同で実施した。5G－MAGは、5Gによるメディア伝達を市場主導のフレームワークにより実現するためのグループとされた。

しかし、現在規格化作業の最終段階にある「リリース17」（段階的に規格を固定中）では、5G波の放送利用に関して多くの進展があった。DVBのウェビナー（1月20日）で講演した米クアルコムのトーマス・ストックハマー氏によれば、「UHF帯での送信用に規格を改定し、帯域幅6、7、8MHzのサポートを追加した」という。

これで、これまで放送系が頑なに携帯系を拒んできた最大の理由が消失した。

★ツール開発

5G－MAGでは参照ツール（リファレンスツール）を2021年夏以来開発している。参照ツールは関係者に配布し、同じ挙動を観察することで実装を加速し、議論の方向を一致させることを目指している。

現在のバージョンは、5㌘㍗Cと5GMSの両方に対応する、「ブロードバンドとブロードキャストのシームレスな切り替え」を試すとしている。本来、ブロードバンドとブロードキャストは同一に並ぶ言葉ではない（物理学で言う次元が異なる用語）だが、ユニキャストとブロードキャストの切り替え、と解釈するものとみられる。

なお、現段階では無線部分は「LTEベースの5G地上波放送システム（ETSI TS103 720）」の信号形式を使用するとしている。電波は出ていないので、エミュレーター（信号発生器）を使用することになるだろう。

★T2後を狙う

DVBの動きは、DVB－T2を継ぐ方式として「T3」は考えていないことを示している。代わりに無線区間は従来周波数帯域で携帯電話系の方式を使用し、新たなサービスとすることを示唆している。

3GPPでは、リリース18以降で携帯電話用の地上ネットワークを放送用の伝送・中継網として使用する方法も議論するという。無線系だけでなく地上系も3GPP系の方式に統合されていく可能性も出てきた。

このウェビナーの後、DVBが発表したニュースリリースでは「要素技術はそろっている。不明な点は、ハンドセット（携帯機）が出そろうかだ」としている。製造事業者がどう動くかとなる。

スマートフォンの有力な半導体供給事業者は、西側では2社である。この両者が6／7／8MHzに対応したチューナーを実装してくれれば、あとはソフトウエアでの処理となる。コストが大きく跳ね上がるものではなく、現実的な動きとなってきた。

DVBが展示会に現れるのは秋の「IBC」である。ここで何が現れるか、注目したい。

●訂正　2月7日号5面の見出しに「Z COM」とあるのは「Z CAM」の誤りでした。お詫びして訂正します。

クリエイティブ＆テクニカルなポストプロダクションとして
「驚き」と「感動」をお客様へ。
より高い創造力と技術力を、CM・TV番組向けポスプロサービスへ。2021.4.1 新IMAGICA Lab.誕生。
事業内容｜テレビCM・テレビ番組・各種コンテンツ制作における映像技術サービス｜Webやモバイルなどを利用した広告・宣伝・プロモーション向け支援サービス｜教育・企業セミナー・イベント等の映像配信向け支援サービス｜システムやアプリケーションの販売並びに保守運用｜その他各種映像技術サービス
IMAGICA
株式会社IMAGICA Lab.
www.imagicalab.co.jp

J：COMが法人向けサービス

専用ディスプレーを使い 定額制でアート作品配信

JCOM（J：COM）は、3月1日から新サービス「SmartArt Frame」を東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県の法人を対象に開始する。同サービスは世界の名画、現代アート、風景写真などをアート専用ディスプレーに配信するサブスクリプションサービス。月額3万800円（ディスプレー49型）または2万2000円（ディスプレー32型）の利用料で、アート作品を鑑賞できる。工事費は1台につき7万1500円。

J：COMは、アートが心理に好影響を与える可能性に注目。コロナ禍で塞ぎがちな心に潤いや癒しを提供してコミュニケーションや創造力が活性化することを期待し、in Museumが運営するアート・コミュニケーションプラットフォーム「ArtSticker」がセレクトした現代アート、風景写真などの作品群をそろえる。

さらに感性科学を研究する慶応義塾大学の川畑秀明教授が監修した各種プレイリストを実装している。これによりユーザーは、好みの絵画を投映して鑑賞でき、利用シーンに合わせた空間演出が可能になる。

「SmartArtFrame」の利用イメージ

専用ディスプレーは、アート作品に適した低反射で広色域な（表現可能な色のレンジが広い）機種を採用し、絵画の色味や筆使い、風合いを繊細に再現する。

さらに、J：COMがCATV事業で培ってきたVOD配信技術を応用して自社開発したサービスシステムを搭載し、簡単な操作を実現した。

監修した川畑教授は「アートを見ること、考えること、アートが私たちと同じ空間にあること」など、アートへの多様な待される。オフィスや病院などさまざまな場面でアートが活用されることを願っている」と述べている。

J:COMが新サービス導入

デジタル本人確認実現 サービスの申請を簡易化

JCOM（J：COM）は1日、「J：COM MOBILE」の申し込みサイトおいて、Liquid（東京都千代田区）が提供する「LIQUID eKYC」を導入した。これにより、所定の手続き時にスマートフォンで顔写真付きの本人確認書類と自身の容姿を撮影して申請することで、オンラインのみで本人確認が完了する。このため、商品の受け取り時の本人確認が不要となり、スムーズに手続きができる。

「LIQUID eKYC」は、ネット上での契約やアカウント開設時の本人確認手続きにおいて必要となる、「利用者が実在する本人であること」を確認するさまざまな身元確認方法を提供するサービス。

「THE BASE」

技術者支援する拠点開設

サイレックス・テクノロジー

ローカル5G製品など検証

無線ネットワーク関連機器メーカーのサイレックス・テクノロジー（京都府精華町／以下、サイレックス）は、京都府初となる商用ローカル5Gの無線局免許を総務省近畿総合通信局から昨年9月3日に取得し、ローカル5G、Wi-F6、802・11ah対応の製品開発・検証の場として、「THE BASE for 5G and Wireless」（以下、THE BASE）を2月1日に同社のけいはんな本社内に開設した。製品開発を担うエンジニアを支援する拠点として運用する。

同社では「今後、スマート組み込み技術やノウハウにより、ユーザーやパートナー企業、教育機関のエンジニアを支援し、新しい製品やビジネス開発を共創する場として活用していくという。

THE BASEでは、同社の既存製品を5G通信端末と組み合わせ、ローカル5G環境下で使用できるデモを実施。5G環境下とWi-Fi環境下で使用した際の違いについて体感できる。

また、ローカル5Gモジュールを搭載した同社の試作機を用意し、ローカル5G通信の安定性、低遅延映像伝送などの確認が可能になっている。

そのほか、クアルコム社の5G技術を搭載したサンダーコム社のシステムオンモジュール（SOM）を使ったサイレックスのローカル5G対応試作機を、Wi-Fi6や802・11ahが混在する環境で検証ができる。

理経／オーイーシー

低軌道衛星ビジネスなど 戦略的業務提携を結ぶ

理経（東京都新宿区）および宇宙VRなどの宇宙関連ビジネス、ならびに長距離無線LAN（FWA）の活用をはじめとする観光活性化、防災など地域課題に対する提案において、事業創出・展開、相互技術支援を目的に戦略的業務提携契約を結んだ。

大分県は2020年4月、米ヴァージンオービット社と大分空港を宇宙港として活用するパートナーシップを締結。大分空港ではロケットの打ち上げを、従来のような発射場からの「垂直型」ではなく、航空機が人工衛星を搭載したロケットを翼につり下げて空港から飛び立ち、空中でロケットを打ち上げる「水平型」方式を採用し、22年中に小型人工衛星の打ち上げを目指している。

理経は、30年以上にわたり衛星通信ビジネスに取り組んでおり、システムの設計・構築・機器を提供してきた。また、FWAを活用した防災ネットワークシステム構築や防災関連のドローン実証実験の参画実績もある。

神奈川県CATV6社

公立高校入試解答を速報 塾講師による問題の解説も

神奈川県ケーブルテレビ協議会傘下のCATV局6社は、「かながわCATV情熱プロジェクト」の活動の一環として、神奈川県公立高等学校入学者選抜学力検査当日である、2月15日に公立高校入試の解答解説番組『令和4年度神奈川県公立高校入試解答速報』を、地域の学習塾協力のもと、放送する。

番組は各社のコミュニティチャンネルで放送するほか、放送と同時にJ：COMが提供する地域情報アプリ「ど・ろーかる」でも配信する。

地域の受験生を応援したいという思いから、2018年より放送している同番組では、入試当日にテレビやアプリを通じて自身で答え合わせをすることが可能なだけでなく、難しかった問題や間違えやすい問題は塾講師による解説を視聴することができる。

さらに、志願者数や倍率などの概況や出題傾向、難易度なども発表するため、保護者や来年受験を控える生徒にも参考になる内容になっている。

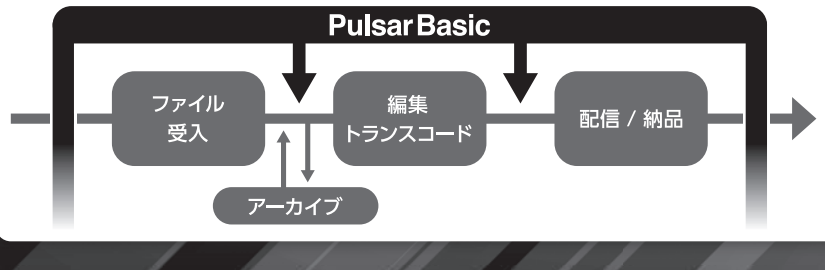
【放送局】▽厚木伊勢原ケーブルネットワーク▽イッツ・コミュニケーションズ▽ジェイコム湘南・神奈川▽湘南ケーブルネットワーク▽YOUテレビ▽横浜ケーブルビジョン

ファイルベース自動QCシステム Pulsar Basic NEW

Venera Technologies

CMや番組コンテンツのファイルチェック用のQCツールとして、着実に国内導入実績を伸ばしているPulsarに、
映像制作用途に機能を絞った、**低価格エントリーモデル**が新登場！

素材搬入から納品チェックまで制作フローをオールレンジで Quality Control



Pulsarが選ばれる理由

- 現場オペレータの声を反映させた直感的なユーザーインターフェース
- 標準的に使用されるほとんどのフォーマットに対応
- パカチェックのスタンダード「ハーディング解析機能」を追加可能（オプション）
- 上位モデルStandard/Professionalへのアップグレードパス
- 簡単解析のWatchフォルダ機能
- ラウドネス修正オプション（解析は標準機能です）
- Netflix, Amazon Prime, iTunes, RDD9テンプレートを標準搭載

ITOCHU 伊藤忠ケーブルシステム株式会社　クロスメディアソリューション本部

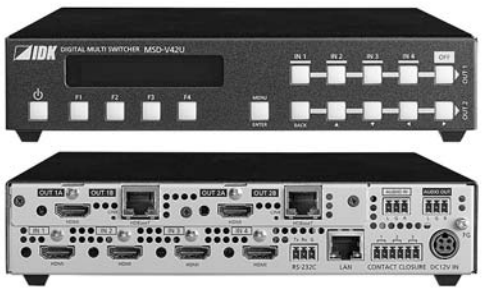
Pulsarの優れた機能をすべて試せるデモライセンスのご要望は、
下記URLかQRコードよりお申し込みください。
https://www.itochu-cable.co.jp/index/contact/inquiry.html

アイ・ディ・ケイが発売

HDMI4入力スイッチャー

スキャンコンバーターを内蔵

アイ・ディ・ケイは、4K@60（4：4：4）とHDCP2・2に対応したデジタルマルチスイッチャー「MSD－V4シリーズ」を発売した。4系統のHDMI入力を備えたスキャンコンバーター内蔵のマルチスイッチャー。1出力モデルの「MSD－V41U」と2出力モデルの「MSD－V42U」の2種類をそろえ小規模AVシステムで使いやすい。



MSD-V42U

2画面合成機能（ピクチャー・イン・ピクチャー／サイド・バイ・サイド）や入力チャンネル自動切り換え機能、本体前面のファンクションボタンからプロジェクターの電源や電動スクリーンを制御する外部機器コントロール機能を搭載する。

また、UDP Push通知に対応しており、本体の状態変化をリアルタイムに制御ユニットに伝達する。ウェブブラウザーからの設定、制御と合わせ、システム運用性や保守メンテナンス性を向上させている。

価格は36万3000円から。

アイ・ディ・ケイ

4K対応の壁面取付型HDMIエンコーダー

アイ・ディ・ケイは、4K@60（4：4：4）とHDCP2・2に対応したHDMIエンコーダー「NJR－P01UFW－T（光ファイバーモデル）」「NJR－P01UFW－T（CATモデル）」を発売した。価格は17万1600円から。

NJR-P01UFW-T

両製品はフルスペック4KのHDMI映像を長距離伝送するウォールプレート型AV over IP機器。4K@60信号を光ファイバーまたはツイストペアケーブルで伝送。RS－232Cの双方向通信とLANの伝送にも対応する。

会議室の壁面に取り付けが可能。ファンの動作音を抑制する静音設計となっている。

同機のリリースにより、AVシステムをIP伝送システムに置き換えることができる。

アビッド

NEXIS－EDGEを発表

エディターや制作チームが場所を問わず共同作業

Avid NEXIS-EDGE

アビッドは、共同制作ワークフローを強化した「Avid NEXIS－EDGE」を発表した。新しいメディアプロキシシステムと、共有ストレージ「Avid NEXIS」の機能強化によって、安全にどこからでもアクセスして作業できる。

エディターはスタジオで編集するのと同様の作業が可能。プロデューサーやアシスタントなどのチームメンバーは、NEXIS－EDGEのウェブクライアントを使用することで、自宅やロケ地でもコンテンツの検索、整理、ストーリーボード作成、編集、レビューができる。

プレミアプロを使用するエディターは、「プレミアプロエディティングコネクター」オプションから、NEXIS－EDGEにアクセスできる。

NEXIS－EDGEとメディアコンポーザーエンタープライズを連携させれば、メディアアクセスや編集ツール、レビューと承認機能などの権限を一元的にユーザーの役割によって管理できる。チームメンバーごとにカスタマイズされたユーザーインターフェースも提供する。

アビッドは、「ツールをリモートでも使いたい」「他のメンバーと連携したい」というエディターの要望を受けこれを開発した。

NEXIS－EDGEは、メディアコンポーザーエンタープライズのサブスクリプションに含まれる。NEXIS－EDGEウェブクライアントと、プレミアプロエディティングコネクターはオプションであり、サブスクリプションとして利用できる。

オークネットが提供

写真仕分け支援サービス

画像認識AIで自動作業

情報流通支援サービスのオークネットは、キタムラ・ホールディングス子会社のラボネットワークと、AIを活用した写真仕分け支援サービス「Andy Photo Book」で協業し、写真館向けサービス分野を拡大している。

同サービスは、先生が生徒の写真を選ぶ「写真セレクト業務」を支援するもので、オークネットの子会社オークネット・アイビーエスなどが共同開発した。

写真セレクトは特に学校の卒業アルバム制作で作業負担が大きいが、同サービスを使えば、事前に生徒の個人写真やスナップ写真を登録するだけで顔を識別・照合し、生徒の網羅率や登場回数を〝平等〟に保ちながら写真を自動で選択することができる。

一般的な卒業アルバム制作の場合、手作業の約100分の1にあたる約3分間で実行が可能。マスクをしていても顔を識別できる。

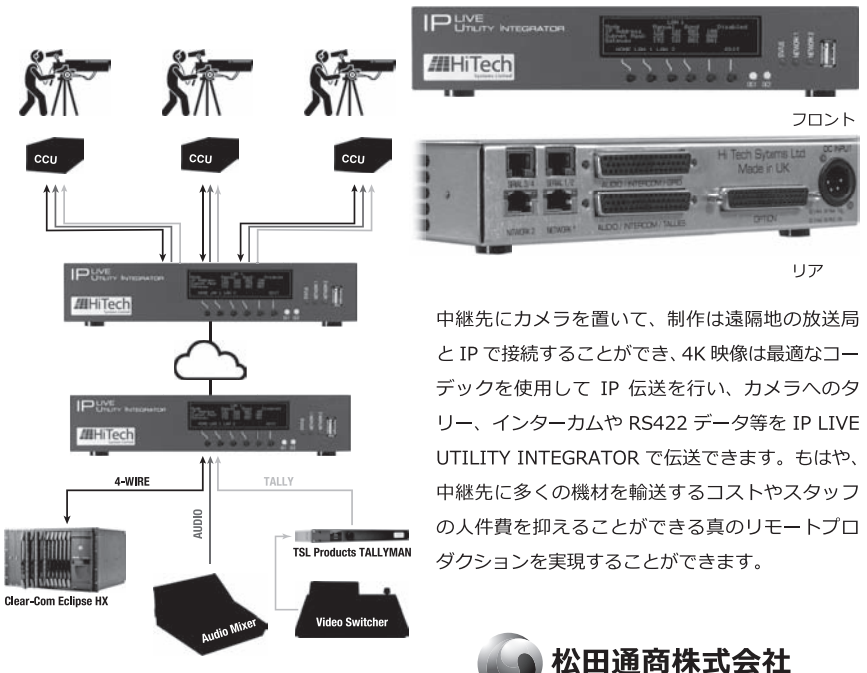
オークネットとラボネットワークは協業によって、同サービスに生徒の写真を確認するための機能を追加した。各地域の写真館は、卒業アルバム作成担当の先生を同サービスのユーザーとして招待することができ、招待された先生は、サービスにログインすることでセレクト案を確認できる。

オークネットは中古車オークションサービスで知られる。子会社のオークネット・アイビーエスは、事業会社として画像識別AIやITプラットフォーム技術を提供している。

IP LIVE UTILITY INTEGRATOR　HiTech Systems Limited

リモートプロダクションを実現する最も簡単なソリューション

※当社比



フロント

リア

中継先にカメラを置いて、制作は遠隔地の放送局とIPで接続することができ、4K映像は最適なコーデックを使用して IP 伝送を行い、カメラへのタリー、インターカムや RS422 データ等を IP LIVE UTILITY INTEGRATOR で伝送できます。もはや、中継先に多くの機材を輸送するコストやスタッフの人件費を抑えることができる真のリモートプロダクションを実現することができます。

松田通商株式会社
▶https://mtc-japan.com/

本　　社　〒107-0062　東京都港区南青山3-3-15　MTCビル　Tel: 03(5413)4611　Fax: 03(5413)4618
大阪営業所　Tel:06（6101）2822　Fax: 06(6101）2823　Mail: inquiry@mtc-japan.com

EXA INTERNATIONAL

赤坂 3Dバーチャルライブ配信スタジオ

常設4台のカメラと3DCG連動によるリアルタイム合成でのライブ配信・収録が可能です
お気軽に見学のご相談、お問い合わせください

BRAINSTORM × UNREAL ENGINE

Brainstorm × Unreal Engine システム絶賛稼働！

表彰式セミナー　試写会イベント　音楽ライブ　eSPORTS

Point
☑ 4カメラ連動 ×3Dバーチャル合成　☑ 実用的な3DCGセットを約200種類ご用意
☑ スタジオ専用光回線（3回線）常設（NTT/NURO）　☑ 控え室7部屋完備

株式会社 エクサインターナショナル
〒107-0052 東京都港区赤坂2丁目16番9号　TEL：03-5575-3911
URL：www.exa-int.co.jp　Mail：info@exa-int.co.jp

舞台照明・映像の専門展示会

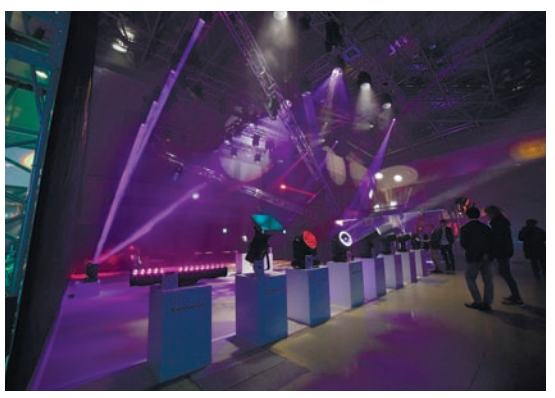
ProLight & ProVisual 2022　16-18日に開催

展示会は舞台照明と舞台・イベント映像のエリアで構成（写真は2020年の展示会）

ライブ、イベント演出に関する技術提案

プロの舞台演出家のための舞台照明・映像の専門展示会「ProLight & ProVisual（プロライト プロビジュアル）2022」（主催：ProLight & ProVisual実行委員会／日本能率協会）が2月16―18日の3日間、東京・有明の東京ビッグサイト（東7ホール）で開催される。舞台やライブ、イベント演出に関する新たな技術発表・情報発信の場となる。

2015年に舞台照明メーカー・代理店が集まる展示会としてスタートしたProLight & Consoleは、20年から舞台・イベント映像のエリアを新設。装いも新たに「ProLight & ProVisual」として2年に1回開催している。



ステージでの演出を実演（写真は2020年の展示会）

舞台やコンサート、イベントの空間を創り出す「光」として照明と映像は深くかかわってきた。このイベントでは、そこにかかわる現場のプロフェッショナルと機材を扱うメーカー・代理店・レンタルカンパニーが、新たな演出を創造するためのコミュニケーションやビジネス創出の場となることを目指している。

現在業界で注目されている各メーカーの最新製品をはじめ、定番製品も取りそろえ、その性能や特徴を専門スタッフが実演を踏まえ説明する。会場内では出展者によるセミナーも実施する。

入場は事前登録制。希望者は公式ウェブサイトから「招待状」を請求する。

【日時】2月16―18日／10―17時（18日は16時30分まで）

【会場】東京ビッグサイト・東7ホール

【公式ウェブサイト】prolight-provisual.jp

セミナー

セミナーは、当日受付（先着順）となっている。会場は、東京ビッグサイト・東7ホール商談室。

【スケジュール】

◆ウシオライティング「これを知っていれば、大丈夫！ Lumine x初級編その1（基礎知識）」（16日／11時30分―12時10分）▽「同・初級編その2（ノードとスイッチ）」（17日／同）▽「同・初級編その3（管理・メンテ等）」（18日／同）

◆エーアンドエー「エンタテインメントデザインツール Vectorworks Spotlight 2022のご紹介」（16、17、18日／12時30分―13時10分）

◆ヒビノライティング「AVOLITES 最新TITANソフトウエアの新機能を解説」（16、17、18日／13時30分―14時10分）

◆シンユニティグループ／タケナカ（VISUALOGIC）・シムディレクト「AR・XR演出における最新テクノロジーとクリエイティブのご紹介」（16、17、18日／14時30分―15時10分）

◆エンジニアライティング「リモートフォローシステム〈Follow-Me〉のメリットと課題」（16、17、18日／15時30分―16時10分）

◆マーチンプロフェッショナルジャパン「Martin最新LED機材のご紹介」（16、17、18日／16時30分―17時）

ProLight&ProVisual 2022 出展者一覧

照明関係	
伊東洋行	パルス
ウシオライティング	ヒビノライティング
エーアンドエー	フォーリーフ
LTG	マーチンプロフェッショナルジャパン
エンジニアライティング	丸茂電機
剣プロダクションサービス	**映像関係**
シンクロライズ	映像センター
スペース・エンジニアリング・ワークス, ベルント・エルブス・ステージ・サービス	エルテック
タマ・テック・ラボ	シンユニティグループ, タケナカ（VISUALOGIC）, シムディレクト
テクニカル・サプライ・ジャパン	テクノハウス
東京舞台照明 / Life is Style	西尾レントオール

シムディレクト

大型映像で没入感を演出
デジタルステージで実演

デジタルステージのイメージ（シムディレクト）

シムディレクトは、メインコンテンツとして、高精細LEDディスプレーの錯視映像×照明×立体音響のデジタルステージを展示する。

LEDディスプレーは、壁2・3ミリピッチ、フロア4ミリピッチのROE社製高精細モデルを中心に使用し、錯視的な表現やムービングライトと連動した映像で、没入感のあるパフォーマンスを展開する。

また、リアルの参加者だけでなく、オンライン参加者の体感価値を高められるようなAR演出を追加し、ハイブリッドイベントでの演出例を見せる。

ステージでは、カメラトラッキングとリアルタイムエンジンを組み合わせたXRスタジオ（バーチャルスタジオ）のような使用方法も披露する。

【使用LEDディスプレー】

［壁面（上）］▽「MG6S」（屋内用）ピッチ2・8ミリ、寸法500×500×71ミリ、重量6・6キロ／枚▽「MG11」（屋内用）ピッチ2・8ミリ、寸法125×500×56ミリ、重量2・7キロ／枚

［壁面（下）］▽「Ruby2・3」（屋内用）ピッチ2・31ミリ、寸法500×500×68ミリ、重量8・2キロ／枚

［床面］「BM4」（屋内用）、ピッチ4・76ミリ、寸法609・6×609・6×154～190ミリ、重量16キロ／枚

映像センター

透過型LED主力に展示
照明や電飾などを組み合わせ

SK9/SK9S

映像センターは、透過型LEDシステム「SK9」をメイン機材とし、ビジュアル・モーション「Kinesys」、ムービングLEDパネル「Wing Panel」とともに「レイヤー感」を演出するデモを披露。さらには、音響としてリアルな空間オーディオを再現する「サウンドスケープ」システムを導入する。

透過型LEDシステム「SK9／SK9S」は、45%の高い透過率で、照明や電飾などを組み合わせた効果的な演出が可能。薄型軽量設計により、大画面などさまざまな設置に対応する（所有数380平方㍍相当）。

ビジュアル・モーションコントロールシステム「Kinesys」は、大型映像機器などのハードウエアを立体空間で自在に動かし、空間演出の幅を広げる。

ムービングLEDパネル「Wing Panel」は、ムービングヘッドにLEDパネルを搭載。スポットライトも連動し、新たな空間演出が可能となっている。

東京舞台照明

照明使った空間演出披露
3Dホログラムなどを活用

L PAR-7IP

東京舞台照明は、エンターテインメント業界の空間演出照明に特化した企業で、1960年の設立以来、培った技術を受け継ぐとともに、時代の最新照明技術に対応しながら、顧客の要望に応える演出空間を提供している。

展示ブースでは、発想とデザイン力で、先進技術・最新機材を披露する。配信やゲームコンテンツの制作ツールである「unreal engine」を使用し、unreal1の中の空間演出と実際の照明によるコラボレーションを実演する。さらに3Dホログラムディスプレーを空間演出に持ち込み、映像空間の拡大に挑む。

販売機材は、新しいレーザー光源とLEDを組み合わせた今までにない明るい光を届ける。「LPAR-7シリーズ」は、マクロカラーにPoly-colourを導入。バンドアとフロストフィルターを標準装備し、日本の照明家の要望で製造された。より良い照明器具を現場へ提案し、多様なリクエストに応える。

ProLight & ProVisual 2022特集

www.nabshow.com

APRIL 23 - 27, 2022 · LAS VEGAS CONVENTION CENTER

Experience An NAB Show Like Never Before.

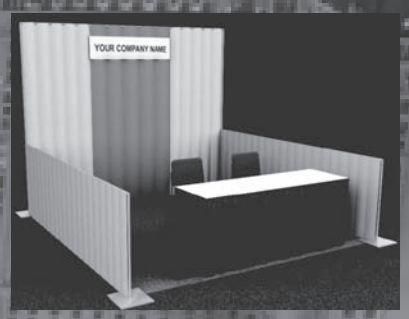
NABSHOW Where Content Comes to Life

2022 年 4 月 23 日 –27 日　展示：4 月 24 日 –27 日
Las Vegas Convention Center　Las Vegas, Nevada USA

出展企業募集

スターター・ターンキーパッケージ

価格：1 平方フィート（1 平方フィートは 929 ㎠）$55



背面カーテン（社名）、横仕切りレール、テーブル、椅子、電源、ゴミ箱

※写真はイメージ画像で実物とは異なる点がある場合があります

ベーシック・ターンキーパッケージ

価格：1 平方フィート（1 平方フィートは 929 ㎠）$95

背面上部会社名、背面壁広告パネル、背面ライト、受付カウンター、カウンター前面広告パネル、カウンター椅子、背面棚、電源、ゴミ箱

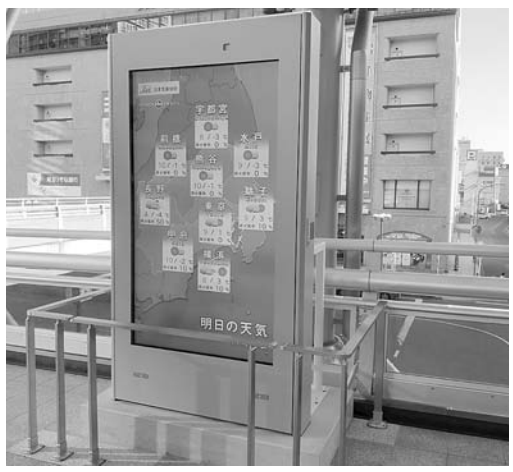
※写真はイメージ画像で実物とは異なる点がある場合があります

詳細問合せ：NAB 日本代表事務所　nabshow@eizoshimbun.com
112-0006 東京都文京区小日向 1-24-8　Tel.03-3942-2381　Fax.03-3942-2581

埼玉・上尾市が情報発信強化

デジタルサイネージを市内計16カ所に設置

埼玉県上尾市は2021年11月12日、JR上尾駅東口の自由通路に大型液晶デジタルサイネージ（サイネージ）を設置し、ワクチンの接種場所など新型コロナウイルスに関連する情報などの各種コンテンツを市民に迅速に提供している。



JR上尾駅のデジタルサイネージ

このサイネージは昨年9月から市役所や支所、文化センターなどへの導入を順次始め、上尾市内計16カ所に設置した。上尾駅東口には高さ約2・5㍍、75型の屋外対応の液晶ディスプレーによるサイネージを設置。ワクチンの副作用症状の問い合わせ先や、天気予報、ニュース、市の広報などの情報も発信している。

上尾市では「広報誌やウェブサイトなどの他の媒体を補完する目的で設置を決めた。月1回の広報誌では発行までにタイムラグがあり、最新の情報提供が難しかった。そこで、人通りの多い場所にサイネージを設置し、市民にいち早く情報提供できるようにしたという。

その一方で、ウェブサイトでは高齢者にとって分かりづらいという声もあった」とサイネージ設置の狙いを説明している。

TBSの五輪テレビ中継

局内にXRスタジオ設置

TBSスポーツの公式YouTubeチャンネルではXRスタジオを使った五輪中継のリハーサルの模様や本番の様子などを見ることができる

TBSテレビでは2月4日に開幕した北京五輪のテレビ中継においてXRスタジオを東京・赤坂のTBS局内に設置して、本格的なXR映像によるテレビ中継を実施している。高精細大型LEDなどでXRスタジオを構築した。

TBSスポーツの公式YouTubeチャンネルでは、XRスタジオを使った五輪中継のリハーサルの模様や本番の様子などを見ることができる。

TBS系列の北京五輪中継は今後、2月14日と20日（総集編）がオンエア予定で、テレビ放送でもXR映像を堪能できる。

なお、このXRスタジオの構築には、光和やアークベンチャーズなどが協力している。

北京五輪

開会式に多数のLED利用

製造大国の中国をアピール

マッピングに代わる映像演出

2月4日から中国・北京で北京冬季五輪（北京五輪）が始まった。昨年の東京五輪ではコロナ禍により大半の会場が無観客だったが、北京五輪では中国国内の一部招待者に限って入場が認められ、少人数であるが有観客での開催となった。

昨年夏の東京五輪の開会式では、プロジェクションマッピング（マッピング）やAR、VR、ドローンなど最新の技術を使った演出が実施された。このようにマッピングを五輪で本格的に採用したのは、2008年の北京夏季五輪の開会式を演出した中国のチャン・イーモウ監督だった。そして今回の北京五輪の開会式の演出にも、同監督が起用された。

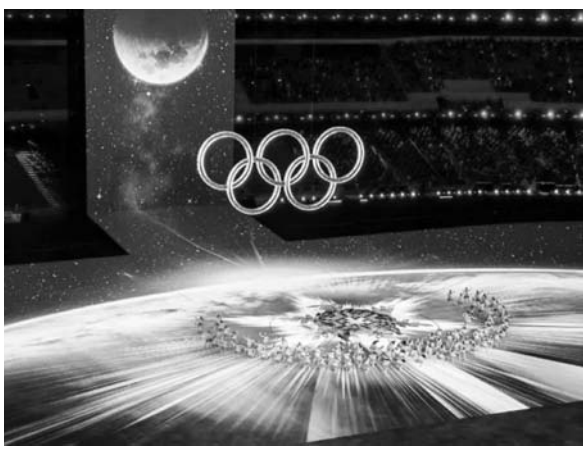
中国の大都市のビル群では、高層ビルに設置された大型LEDで連夜大規模な映像演出が見られる。世界の大型LEDディスプレーの大半は、中国の深圳などで製造されている。現在では〝メイドインチャイナ〟のLEDビジョンが世界市場を席巻しているのだ。

北京五輪の開会式では、従来のプロジェクター使用のマッピング演出ではなく、大型LED大国の中国らしく、すべて大型LEDディスプレーを使った映像演出を展開。スタジアム床面のフロアLEDだけで約1万1000平方㍍（レイヤード製）、開会式全体では約1万5000平方㍍（うち約1万3800平方㍍がレイヤード製）の大型LEDディスプレーが利用された。

スタジアム両サイドの大型LEDディスプレーもレイヤード製を設置した。レイヤードは中国・北京に本社を置く地元企業で、大型LEDディスプレーの販売実績では世界トップクラスを誇る。

レイヤードジャパンの三浦衛社長は「北京府五輪の開会式において、レイヤード製LEDディスプレーが多数使用され、世界中の観衆を魅了した。3Dエフェクトを含む画面マネジメントシステムが活用された。一部ではBOEやユニルミンなど他社製のLEDも使われていた」と話す。

これを契機に五輪のような大規模イベントでは今後、従来のマッピングなどのプロジェクターを使った演出から、大型LEDを使った演出が多用される時代になるのかもしれない。（川田宏之）


北京五輪の開会式の様子(レイヤードジャパンのニュースリリースより)

レイヤードが五輪会場に設置

フロア型3D LED装置

8Kの4倍に近い解像度

レイヤードジャパンは7日、北京冬季五輪の開会式において、計1万3800平方㍍のレイヤード社製LEDディスプレーが映像演出に利用されたことを発表した。

会場には、1万4880×7248㍉、4万2208枚のLEDタイル（50㌢㍍四方）を敷き詰めた世界最大というフロア型3D LEDシステムを8Kの4倍に近い解像度で実現。観客は肉眼で3D効果を体感することができた。会場の床面は全面LEDで、そのほかに高さ60㍍の氷瀑を模したLED、アイスキューブ型、スタンド両端のメインスクリーンを構築した。

使用機材はすべてIP66適合、アンチグレア、滑り止め処理（フロア型LED）が施されており、演出を妨げることなく安全に運用できたという。

また、デュアル電源供給システムを構築し、障害発生時にも遅延なく安定的な電力供給が可能となっている。

そのほか、レイヤードは会場の配信センター、消防センター、防災センターそれぞれに1・2㍉㍍ピッチ／50平方㍍㍍超のLEDシステムを納入。さらには38台の8Kメディアサーバーなどを使用して、放送システム全体の設計、構築、運用を担当し、ソフトウエアの面からも世界最大級のLEDパフォーマンスを支えたという。

【北京五輪で使用のLEDディスプレーとサイズ】

▽フロア型＝1万1000平方㍍▽縦長「氷瀑」型＝1200平方㍍▽アイスキューブ型＝600平方㍍▽スタンド両端＝1000平方㍍

Maevex 6100 シリーズ
H.264 4K エンコーダー・デコーダー
NEW HDCP対応 新モデル Maevex 6152/6122 Encoder 新発売！
Maevex 6152 Encoder
Maevex 6152 Decoder
マルチストリーミング・ビデオウォールを簡単構築
超低遅延・4系統同時にエンコード
Maevex 6152/6122 エンコーダーから配信された HDCP コンテンツは、Maevex 6152 デコーダーでのみ視聴できます。
matrox Graphics for Professionals
お問合せ先
ジャパンマテリアル株式会社
グラフィックスソリューション事業部
E-mail：sales-IT@j-material.jp
URL：https://www.jmgs.jp/
※記載されている商品名等は各社の商標または登録商標です。

NAB SHOW™
Where Content Comes to Life™

4K／8K・リモート・IP・クラウド・AI

放送・映像制作の世界最新動向を視察

NAB Showツアー参加者募集！

業界関係者必見！ 今すぐ詳細募集パンフレットをご請求ください!

ご希望の方には過去のツアーレポートをお送り致します。

放送業界最大のイベントでNAB（エヌエービー=National Association of Broadcasters）が主催する世界最大の放送機器展NAB Showは、2022年4月23日（土）から4月27日（水）まで開催される予定です。
最先端の映像機器と映像技術・最新トレンドが一度にご覧頂ける映像関連業界の方に必見の展示会となっております。
弊社JTBでは、NAB日本代表事務所に協力いただき、業界関係者向けた今回で42回目となるツアーを企画いたしました。現地では、空港～ホテル間に往復送迎専用バスをご用意、また、ホテル内に専用デスクを設置しご参加者の皆様が安全・快適に見本市に出席していただく環境を整えております。
また弊社の海外ネットワークを活かし、現地でも様々な手配（食事・観光・視察など）が可能な他、関係機関（航空会社、ホテル、大使館）との連携の上、最新の渡航情報を参加者の皆様へご提供致します。感染症対策につきましても、同行いたしますJTB添乗員やJTBラスベガス支店含め、万全の状態で皆様の渡航をサポートさせていただきます。
是非ともご参加くださいますよう、宜しくお願い申し上げます。

- ◆過去41回・延べ4,184名参加の実績
- ◆現地にて速報レポート配付
- ◆充実の企業視察訪問コース設定
- ◆オリジナルプランの設定も可能
- ■旅行代金：498,000円～548,000円

（大人１名様、日本発着便エコノミークラス利用、ツイン2名１室利用）

参加者だけの特別セミナー

NAB Showや米国の最新状況をご理解いただくために、ツアー参加者の方専用のセミナーをご用意しています。

他のツアーにはないNAB Show視察の決定版！ 実績と情報発信量が違います！

映像新聞 視察ツアー　旅行期間：2022年4月22日(金)～4月27日(水) 6日間

本ツアー参加のメリット

1. NAB Show期間中は毎日、日本語速報レポートを提供いたします
2. ラスベガスにて事前説明会開催（みどころ紹介）いたします
3. NAB Show会場（ラスベガスコンベンションセンター）に至近のホテルを確保しております
4. 見本市会場では、専門通訳が同行し、最新情報やみどころをご案内いたします
5. 宿泊ホテルにてツアーデスクを設置し、食事などの予約等承ります
6. 会議登録の代行も承ります（別途、手数料が必要となります）
7. 基本日程以外でのスケジュールも承ります
（見本市前後のご出張に合わせたスケジュールも可能です）
8. 添乗員が同行いたしますので、現地で安心・安全にSHOWにご参加いただけます

※アメリカ本土への渡航について
2022年1月13日現在、外務省発表の感染症危険レベルがアメリカ本土はレベル3となっており、上記ツアーは仮申込の受付を行っております。
危険レベルが1以下に下がった時点で正式申込となります。

	月　日（曜）	地　　名	現地時間	交通機関	スケジュール	食　事
1	2022年 4月22日 (金)	東京 (成田・羽田)発 ラスベガス着	午前 午後 夕刻 午後 夕刻	航空機 専用バス	空路、ロサンゼルスまたはサンフランシスコ経由、ラスベガスへ ～～～国際日付変更線通過～～～ 到着後、専用バスにてホテルへホテルチェックイン <ラスベガス/ウエストゲートラスベガス リゾート ＆カジノ泊>	昼食：× 夕食：機内 昼食：× 夕食：×
2	4月23日 （土）	ラスベガス	終日	巡回バス	■NAB Show2022視察 <ラスベガス/ウエストゲートラスベガス リゾート ＆カジノ泊>	朝食：○ 昼食：× 夕食：×
3	4月24日 (日)	ラスベガス	終日	巡回バス	■NAB Show2022視察 <ラスベガス/ウエストゲートラスベガス リゾート ＆カジノ泊>	朝食：○ 昼食：× 夕食：×
4	4月25日 (月)	ラスベガス	終日	巡回バス	■NAB Show2022視察 <ラスベガス/ウエストゲートラスベガス リゾート ＆カジノ泊>	朝食：○ 昼食：× 夕食：×
5	4月26日 (火)	ラスベガス発	早朝 朝	専用バス 航空機	空港へ 空路、ロサンゼルスまたはサンフランシスコ経由、帰国の途へ ～～～国際日付変更線通過～～～	 昼食：機内 夕食：機内
6	4月27日 (水)	東京 （羽田・成田）着	午後 夕刻		通関手続き終了後、解散	

この日程は最新のスケジュールに基づき作成しておりますが、交通機関の都合により変更となる場合がございます
利用予定航空会社　UA：ユナイテッド航空　DL: デルタ航空　AA: アメリカン航空　JL: 日本航空

●時間帯の目安

早朝	朝	午前	午後	夕刻	夜	深夜
04:00	06:00	08:00	12:00	16:00	18:00	23:00	04:00

企画 協力　映像新聞　映　像　新　聞　社
協　　力　NAB　NAB 日本代表事務所

■申込方法：参加ご希望の方は、以下の担当者までE-Mailをお送りください。
専用の申込URLをお送りいたします。
e_hashimoto099@jtb.com

旅行企画・実施　JTB　株式会社JTB 新宿第二事業部
観光庁長官登録旅行業第1767号（社）日本旅行業協会正会員
旅行業公正取引協議会会員
〒163-0426東京都新宿区西新宿2-1-1新宿三井ビルディング26階
ボンド保証会員
TEL:（03）5909－8102
https://www.jtb.co.jp/
E-mail :e_hashimoto099@jtb.com

海外視察・見本市専門サイト　http://www.it-navi.com　でもご覧いただけます。(準備中)

カレッタ汐留のカフェダイニング「EJEVAR」
最新XR技術を体感
店内に映像システム設置 コンテンツの実験の場にも

東京・東新橋の「カレッタ汐留」は、約60の飲食店・ショップのほか、日本初の広告ミュージアム「アドミュージアム東京」、「電通四季劇場［海］」などの文化施設を併設した複合商業施設だ。このカレッタ汐留の3階には、VRやAR・プロジェクションなどの最新のXR技術を体感できる空間で、五感を刺激しながら食を楽しむことができるカフェダイニング『EJEVAR（エジェバル）』が営業している。

同カフェを運営するeje（エジェ／東京都港区）の三代千晶社長は「このエジェバルは先端企業が集い、自由にVRやARなどの先端コンテンツを作ったり実験したりすることができるラボを併設している」と話す。

同社は高解像度の12K等の全天球カメラを自作し、観光地や舞台のVRコンテンツを制作。パナソニックや電通と協力して、飲食店やスタジオなどに向けてVRなどの最新技術を提案してきた。

エジェバルでは、パナソニック製大型DLPプロジェクターや、プロジェクションマッピング投写用の小型プロジェクター「スペースプレイヤー」などを常設し、マッピング空間や小型のドームシアター、マルチ大型画面シアターなどを展開している。

三代氏は「これらの映像機器による設備を使い企業同士で交流し、情報交換・コンテンツ制作・実験の場として活用されている。電通とパナソニックの協力を得て最先端機器とコンテンツを制作し上映できる環境が整っている。2月から新たに高精細LEDディスプレーも導入したことで、プロジェクターのみならずLED大画面も利用できるようになった」と話す。

カフェの入口付近に新規導入された高精細LEDディスプレーは、136型大画面で画素ピッチは1・56㍉。ミニLED素子を採用しており、タッチパネル機能も備えている。

同LEDディスプレーを提供したのは、中国の大手LEDメーカーであるAOTOだ。AOTOジャパン営業部の海鋒洸介氏は「当社としてもハードウエアのみならずコンテンツも販売していくためには重要と考え、このカフェに協力していくことを決めた。最新型のミニLED採用のモデルでLEDには珍しいタッチパネルによる操作が可能である」と説明する。

電通 アクティベーションソリューションセンター部長の足立光氏は「コロナ禍を受けVRコンテンツの需要は拡大している。カレッタ汐留という電通本社と隣接している立地を生かし、当社としてもこの施設に協力してコンテンツ開発などを実施している。最新の大型LEDを導入したことで、これまで以上に良質のコンテンツ開発が期待される」と述べている。

三代氏は「プロジェクターだけでなく大型LEDもという要望が多かったが、今回これに応えることができた。ぜひ多くの人に利用してもらいたい」と話している。

カフェダイニング「EJEVAR」

カフェの入口付近に新規導入された高精細LEDディスプレー

三代氏㊨と海鋒氏

足立氏

PCとEIZOモニター セットモデルの販売開始
マウスコンピューター

マウスコンピューターは、クリエイター向けPCブランド「DAIV（ダイブ）」と、EIZOのモニターを組み合わせたセットモデルを発売し、特設サイトを更新した。

デスクトップPCのセットモデルは、「DAIV Z7」（24・1型モニター付き／ウェブ販売価格31万8780円より）、「DAIV Z7 3060-Ti」（27型モニター付き／同37万3780円より）、「DAIV Z9-A4」（4K対応26・9型モニター付き／同54万9780円より）。このほかにノートPCのセットモデルも用意している。

セットのEIZOモニター「ColorEdgeシリーズ」の各モデルは、アドビRGBカバー率99%の実現に加え、カラーマネージメントソフトによるハードウエア・キャリブレーションに対応。独自のムラ補正回路を搭載することで、画面の隅々まで正しく色を表現できる。

DAIV Z7（モニターセットモデル）

4K時代の総合映像ポストプロダクション
togen
株式会社 東京現像所
www.tokyolab.co.jp

space RAIL α
スペースレール -アルファ-
ー　拡張性と洗練されたデザインを持ち合わせた新型マルチデスク　ー

メインフレームは拡張性高いアルミフレームを採用し、デザイン性も持ち合わせたマルチデスクです。
W:1250/1800のサイズで豊富なオプション設定による欲しい機能の組み合わせが可能。
ご要望が多かった傾斜付きのラックマウントモジュールの設定から卓下に挿入可能な6Uマウントボックスなど拡張性とデザイン性を両立させた新型マルチデスクです。

【オプション例】

あらゆるソリューション設備（医療／教育／映像／音響／情報）の筐体開発・設計・販売・施工
ニッキャビ株式会社　〒211-0051川崎市中原区宮内2-5-8　E-Mail:niccabi@niccabi.co.jp
TEL:044-766-2111 FAX:044-777-9000　URL:http://www.niccabi.co.jp

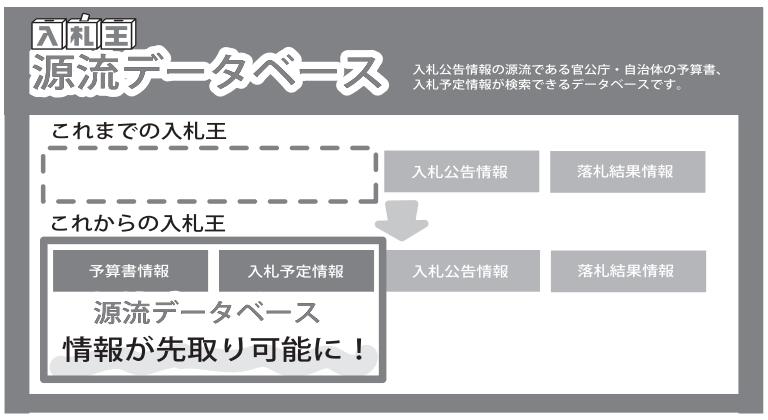
映像入札王のご案内

入札王 入札情報提供サービス

映像新聞社では、株式会社ズノーと業務提携し、同社の展開する入札情報提供サービスと連携した「映像入札王」を提供いたします。

入札王に国内唯一の新サービス登場！

源流データベース「予算書・予定情報」で入札を先取り！



映像入札王とは？

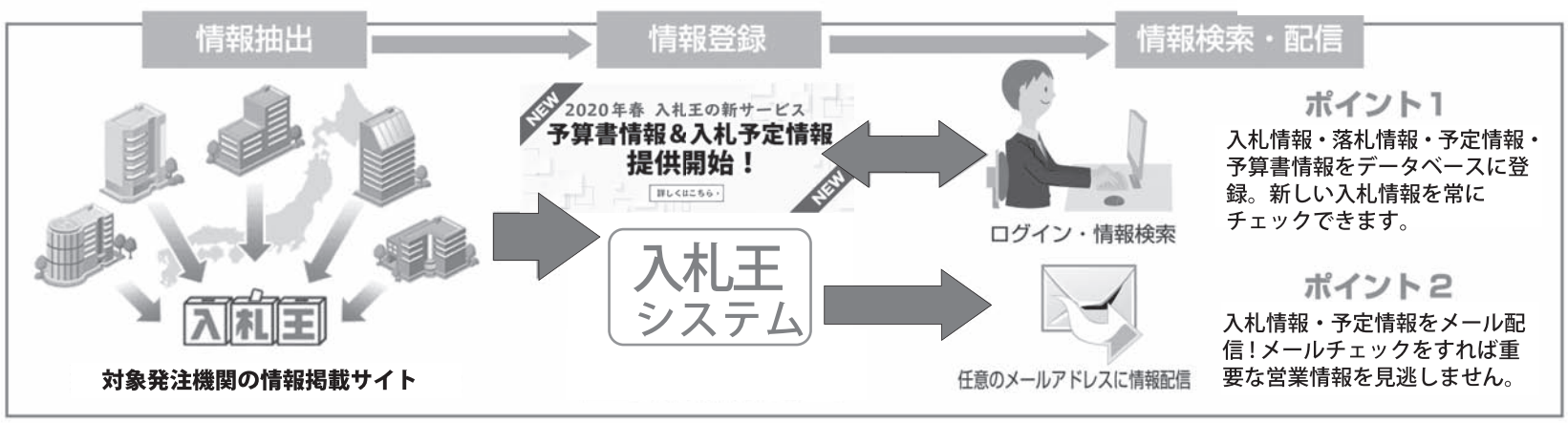
中央省庁、独立行政法人、地方自治体等の
入札情報・落札情報・予定情報・予算書情報を
提供するサービスです。
映像制作・関連機器、ホームページ制作、広告制作、
情報処理、調査等あらゆる分野の最新の入札情報を
毎日ご提供します。

その特長は

1　業界最大級の網羅性
- 全国の発注機関（入札情報 7,500 機関以上）を網羅。

2　横断的、一括した情報を抽出
- 統一データベースを構築、類似団体の情報も横断的に抽出

3　多様な検索機能を準備
- 発注機関別（中央省庁、自治体別、独立行政法人別）
- 都道府県別、人口規模別、業種別
- 会計区分別（一般、特別）、予算区分別（当初、補正）
- キーワード（フリーワード）等



10 日間 お試し
無料トライアル実施中

トライアル期間で入札王の
効果を実感してください

http://www.eizoshimbun.com

上記 URL からのエントリーで割り引き適用となります

『映像新聞』購読の方は、下記料金から 5%引き

《サービス利用料金（入札・落札情報サービス）》　（税込）

発注地域の選択	契約期間 6 ヶ月	契約期間 12 ヶ月	25 都道府県	¥303,600	¥550,000
3 都道府県	¥77,000	¥143,000	26 都道府県	¥308,000	¥556,600
4 都道府県	¥110,000	¥198,000	27 都道府県	¥312,400	¥563,200
5 都道府県	¥132,000	¥242,000	28 都道府県	¥316,800	¥569,800
6 都道府県	¥154,000	¥286,000	29 都道府県	¥321,200	¥576,400
7 都道府県	¥176,000	¥330,000	30 都道府県	¥325,600	¥583,000
8 都道府県	¥198,000	¥374,000	31 都道府県	¥328,900	¥587,400
9 都道府県	¥220,000	¥418,000	32 都道府県	¥332,200	¥591,800
10 都道府県	¥226,600	¥429,000	33 都道府県	¥335,500	¥596,200
11 都道府県	¥233,200	¥440,000	34 都道府県	¥338,800	¥600,600
12 都道府県	¥239,800	¥451,000	35 都道府県	¥342,100	¥605,000
13 都道府県	¥246,400	¥462,000	36 都道府県	¥345,400	¥609,400
14 都道府県	¥253,000	¥473,000	37 都道府県	¥348,700	¥613,800
15 都道府県	¥259,600	¥484,000	38 都道府県	¥352,000	¥618,200
16 都道府県	¥264,000	¥490,600	39 都道府県	¥355,300	¥622,600
17 都道府県	¥268,400	¥497,200	40 都道府県	¥358,600	¥627,000
18 都道府県	¥272,800	¥503,800	41 都道府県	¥361,900	¥630,300
19 都道府県	¥277,200	¥510,400	42 都道府県	¥365,200	¥633,600
20 都道府県	¥281,600	¥517,000	43 都道府県	¥368,500	¥636,900
21 都道府県	¥286,000	¥523,600	44 都道府県	¥371,800	¥640,200
22 都道府県	¥290,400	¥530,200	45 都道府県	¥375,100	¥643,500
23 都道府県	¥294,800	¥536,800	46 都道府県	¥378,400	¥646,800
24 都道府県	¥299,200	¥543,400	47 都道府県	¥385,000	¥660,000

●お問い合わせはこちらへ。
株式会社ズノー 入札王事務局　〒106-0044 東京都港区東麻布 1 丁目 5-2 ザイマックス東麻布ビル 8F　TEL：(03)6441-0332 ／ supportking@nyusatsu-king.com

「映像新聞」追加送付サービス

定期ご購読者のリモートワーク先へ
ご好評につき提供期間を延長

昨今、在宅勤務やテレワークが進んでいることを受けまして、弊社では定期購読者様向けに、ご自宅やリモートワーク先でも映像新聞をお読みいただけるよう、追加送付サービス（無料）を実施しておりますが、ご好評につき、提供期間を延長（期限未定）いたします。引き続きサービスをご利用ください。

追加送付のお申し込みは、弊社ウェブサイトのみからの受付となります。

この機会に、映像新聞をさらにじっくりとお読みいただけましたら幸いです。

お申し込み =www.eizoshimbun.com　映像新聞社

SKIPシティ国際Dシネマ映画祭

コンペ部門の作品を公募

長編・短編 期間は3月1日まで

第19回を迎える「SKIPシティ国際Dシネマ映画祭2022」（埼玉県、川口市、SKIPシティ国際映画祭実行委員会、特定非営利活動法人さいたま映像ボランティアの会）は、7月16日―24日の9日間の日程で開催される。会場は、SKIPシティ彩の国ビジュアルプラザ・映像ホール（埼玉県川口市）ほか。

それに伴い、コンペティション部門（国際コンペティション・国内コンペティション）の作品の公募を開始した。期間は3月1日まで。

SKIPシティ国際Dシネマ映画祭は、第1回開催の2004年当初から、現在では映画製作の主流となったデジタルで撮影・制作された作品のみにフォーカスした国際コンペティション映画祭。世界中から、エンターテインメント性と新たな表現の可能性を感じる作品を公募し、次代を担う若い才能の発掘と育成を実現することで、新たな映像産業の発展に寄与することを目的に、毎年開催している。

映画祭の中核である「コンペティション」には、国際コンペティションと国内コンペティションがあり、長編作品を対象にした国際コンペティションは広く世界中から応募された作品を、長編部門と短編部門の2部門で構成される国内コンペティションは、日本の若手監督の作品を厳選して上映する。2021年は104の国と地域から、合計1084本の応募があった。

一次審査を経てノミネートされた作品は、国際コンペティション、国内コンペティションともに著名な映画人で構成される審査委員会によって最終審査をして、最優秀作品賞をはじめとする各賞を授与する。また両コンペティションを通じたすべての国内作品を対象に、今後の長編映画制作に可能性を感じる監督に対し「SKIPシティアワード」を贈る。

【公募対象作品】▽国際コンペティション＝作品長が60分以上▽国内コンペティション（長編部門）＝作品長が60分以上▽国内コンペティション（短編部門）＝作品長が15分以上60分未満

【応募条件】▽長編映画は制作数が3本以下の監督の作品▽短編映画は商業公開された長編映画（60分以上）を制作したことがない監督の作品▽今回の映画祭が国内初上映であること（教育機関や自主上映会での公開は除く）▽2021年1月1日以降に完成した作品

【詳細】www.skipcity-dcf.jp

DCAJがハイブリッド開催

「TechBiz」採択の8社 24日にピッチイベント

デジタルコンテンツ協会（DCAJ）は、イノベーターとの出会いの場所「Venture Cafe Thursday Gathering」において、海外展開を目指す企業を支援するアクセラレーションプログラム「TechBiz」に採択された8社が自社の技術をそれぞれ4分間で説明し、VC（ベンチャーキャピタル）の担当者が各社に対してコメントをするピッチイベントを実施する。参加無料。

VR教育、MR遠隔会議システム、ノーコードでVRアニメ制作、立体空中映像、作業現場でミスをなくすIoT技術、スマートフォンで簡単3Dモデル作成、リアルタイム転送による無線LEDを使ったイベント演出など、オンラインとオフラインの間を埋めるソリューションを提供する8社が登場する。

同イベントは、CICTokyoで現地開催予定だが、オンラインでも参加できる。

なお、会場ではデモスペースで、ピッチで紹介した最新技術を体験することが可能。

【日時】2月24日／19―20時（デモ時間は17―21時）

【会場】CICTokyo（東京都港区虎ノ門1―17―1 虎ノ門ヒルズビジネスタワー15階）／オンライン（ハイブリッド開催）

【申し込み】thursdaygathering-20220224.peatix.com

セミナー

◇リーダー電子／技術セミナー「アナログ同期信号とPTPの概要」

オンライン（Zoom）で2月24、25、28日に開く。放送・映像制作で重要なシステムである同期運用についての基礎が学べる初心者向けの内容になっている。

【定員】各500人

【詳細】www.leader.co.jp

①同期信号、③3値同期信号、④アナログ同期信号とSDIの同期、⑤10フィールドID同期信号、⑥PTP同期とアナログ同期の関係。

事前申込制（受講料無料）。

【日時】2月24、25、28日／14―15時（各日とも同じ内容）

【詳細】www.leader.co.jp

◇リーダー電子／技術セミナー「同期とは」

内容は、①「同期とは」、②BB（ブラックバース）

CP+2022 リアル会場のイベント中止 オンライン単独開催へ

カメラ映像機器工業会（CIPA）は、2月24日から4日間開催を予定していた「CP+2022」のパシフィコ横浜会場イベントを中止し、オンライン単独開催とすることを決めた。

新型コロナウイルスは、「プレ・イベント」（2月22、23日）、「メイン・イベント」（2月24―27日）を予定どおり実施する（無料・事前登録制）。

【詳細】www.cpplus.jp/outline

なお、オンラインイベントは、在宅勤務やテレワークが進んでいることを受けまして、弊社では定期購読者様向けに、ご自宅やリモートワーク先でも映像新聞をお読みいただけるよう、追加送付サービス（無料）を実施しておりますが、ご好評につき、提供期間を延長（期限未定）いたします。引き続きサービスをご利用ください。

追加送付のお申し込みは、弊社ウェブサイトのみからの受付となります。

この機会に、映像新聞をさらにじっくりとお読みいただけましたら幸いです。

お申し込み =www.eizoshimbun.com　映像新聞社

「情報」がビジネスを熱くする。

映像新聞は、放送やブロードバンド、デジタルコンテンツプロダクション、映像制作者など映像業界へ向け、ビジネスとテクノロジーの両視点で情報を発信している専門紙です。映像のデジタル化は、デジタル放送やデジタルシネマといった新しい文化を創り、ブロードバンドにより新しいコミュニケーションを発達させました。映像新聞は、これらの動きをいち早く伝え、新鮮な情報をお届けいたします。
ビジネスを熱くするメディア……それが「映像新聞」です。

映像新聞

毎週月曜日、月4回発行（年間48回発行）
基本ページ数
16-20ページ／タブロイド判
年間購読料：28,600円（税・送料込み）

海外での購読の場合は、消費税分を除いた料金に別途送料がかかります。 詳しくはお問い合わせ下さい。

ウェブサイトからお申し込みができます
www.eizoshimbun.com

短期購読および複数購読のご案内

●短期購読の場合
◎3カ月購読の場合：7,920円（1部660円×12回）
◎6カ月購読の場合：14,400円（1部×24回）

●複数購読の場合（年間購読契約のみ）
対象となる購読者（以下の3つの条件をすべてを満たすこと）
◎送付先が同一であること
◎請求先が同一であること（送付先とは別でも可）
◎購読契約期間（契約更新月）が同一であること
※料金（申し込み部数により料金を割引きます）
・2–5部は10%割引き　（1部、年間25,740円）
・6–9部は20%割引き　（1部、年間22,880円）
・10部以上は30%割引き（1部、年間20,020円）

※2021年4月1日からの「総額表示義務化」によりすべての価格は税込みになっています

●ご購読のお申込み・お問い合わせはこちらへ。
映像新聞社　〒112-0006　東京都文京区小日向1-24-8エイゾービル　TEL 03-3942-2161　FAX 03-3942-2581　e-mail:info@eizoshimbun.com

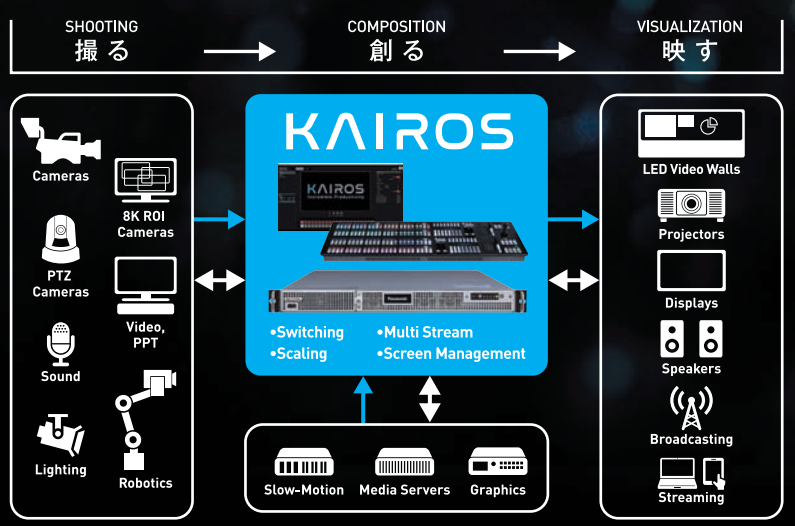
Panasonic
BUSINESS

KAIROS
Incredible Productivity

アイデアが織りなす無限の可能性。

「撮る」「創る」「映す」をIT/IPで繋ぐ
次世代のライブ映像制作プラットフォーム

パナソニックが提案する「KAIROS（ケイロス）」は、独自のソフトウェア開発によりCPUおよびGPUで映像処理を行う、新しいコンセプトのライブ映像制作プラットフォームです。多彩な映像表現を低遅延で実現。直観的で使いやすいGUIとレイアウトを自由にカスタマイズできるコントロールパネルによる優れた操作性。クリエーターの創造性を解き放つ自由なオペレーションを可能にしました。オープンアーキテクチャーで開発された新スタンダード「KAIROS（ケイロス）」。映像制作の未来にイノベーションをもたらします。



https://panasonic.biz/cns/sav/products/it_ip_platform/
製品の詳細情報・お問合せは製品情報をご覧ください。

A Better Life, A Better World